

「お城のあとが果樹園に！～松平試農場の記録と蔵書～」

開催要項

1 展示概要

明治から大正時代にかけて、福井城址に広大な農場があったことをご存じでしょうか。松平試農場は、最後の福井藩主・松平茂昭の子である松平康^{やすたか}荘によって明治26年(1893)に設けられた試験農場です。試農場で栽培された作物は果樹、野菜類など多種多様ですが、特にりんごの栽培に重点をおき、「矮性^{わいせい}樹立^{きだち}仕立法」という独自の剪定法を確立しました。大正10年(1921)には、本丸を県庁移設地として無償貸与することになり、試農場は細呂木村(現・あわら市)に移転。昭和31年(1956)には坂井農業高校(現・坂井高校)同窓会に譲渡され、64年の歴史に幕を下ろしました。

本展示では、松平文庫の資料や坂井高校から寄贈された蔵書の一部を展示し、松平試農場の沿革とその功績を紹介します。

2 会期・場所

令和3年6月25日(金)～8月25日(水) 文書館閲覧室、図書館閲覧室入口

3 主な展示資料

【松平文庫より】

「松平試農場 設計書」、「松平試農場一覧」、「教務日誌」、「移転に関する要書綴」など

【坂井高等学校(松平試農場旧蔵)より】

「農事試験成績 第壹報」、「農具便利論」、「日本農作物害虫篇」、洋書類など

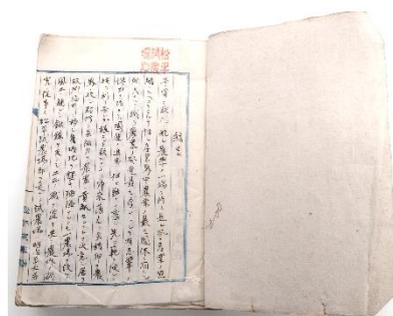
4 その他

関連イベントとして、松平試農場をテーマとしたトークイベントを8月8日(日)に開催。

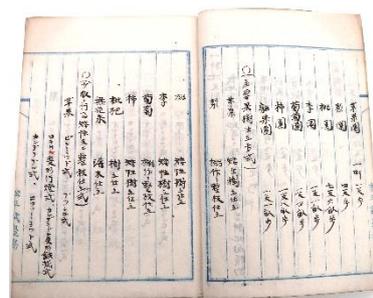
<展示資料の例>



「農事試験成績 第壹報」



「農事試験成績 第壹報告 (簿冊)」



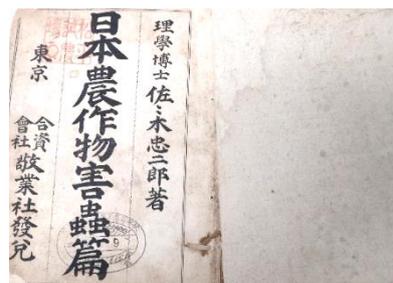
「松平試農場一覧」



「教務日誌(明治41年)」



「農具便利論(大蔵永常)」



「日本農作物害虫篇(佐々木忠次郎)」